

指定校番号	28036	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立伴小学校	校長	太田 治	生徒指導主事	越智 武志
-----	----------	----	------	--------	-------

**取組事例名 『児童会活動のいじめ撲滅運動「SOS BOX」』**

**取組のねらい『キーワード「予防的な生徒指導」』**

- 子ども主体の予防的な生徒指導を行うこと。
  - ・一人で抱え込ませない。
  - ・子ども同士が、主体的に、いじめで悩んでいる子どもの声に耳を傾け、支援する。その悩みを訴える場を必要としている子どものために「SOS BOX」を設置する。
  - ・児童会活動を通じて「あいさつ運動」や「自問清掃」、いじめ防止策を行ったり、全校朝会で学校のきまりについて指導を行ったりして、定期的な指導・アンケートによる実態把握に努める。
  - ・自分自身がしている「いじめの根」につながる言葉や行動に気付く。
  - ・いじめをなくしていく努力・勇気・正義感のある「伴っ子」になっていく。

**取組の具体的内容『キーワード「いじめは決して許さない！」』**

- 「いじめは決して許さない！」という姿勢を計画運営委員会が中心となって推進する。
  - ・計画運営委員会（児童会）でいじめ追放のポスター制作・掲示
  - ・SOS BOXの設置紹介（全校放送）
  - ・計画運営委員会による、いじめに気付いた子どもや被害相談を訴えてきた子どもからの聞き取り。担任への連絡。解決から一週間後の再度の聞き取り。
  - ・全校による「伴小ほんわか言葉」作り・発表・「ほんわか言葉」の掲示
  - ・全校児童いじめのチェックリスト実施（11月14日～18日）
  - ・クラス毎に、学級代表と担任とで、いじめのチェックリスト集計、学級での話し合い、計画運営委員会への提出を行い、全集計をまとめる。
  - ・校内テレビ放送による「いじめ追放キャンペーン」

**取組の課題・創意工夫『キーワード「主体的に考え、行動できる伴っ子」』**

- いじめについて、子ども自らが主体的に考え、行動できる伴っ子につなげていくことができたか。
  - ・教室内を始め、周囲の様子に関心の目を向けることができていない子どもがいた。
  - ・学級内での指導の温度差が生じていた部分があった。
  - ・いじめをなくしていく努力と勇気、正義感のある伴っ子になっているかどうかの結果は、計りにくい。校内の様子を見る以外、計ることができていない。
  - ・いじめ0（ゼロ）になったとは、言い切れない。

**取組の成果（効果）『キーワード「伴小スタイルの構築」』**

- 伴小スタイルの構築につながったこと。
  - ・「いじめは決して許さない！」という姿勢を計画運営委員会が中心となって推進することができた。
  - ・一人一人が、いじめにつながる言葉や行動（「いじめの根」）に気付くことができた。
  - ・本気の姿勢（職員も計画運営委員会も）で取り組むことができた。
  - ・「SOS BOX」の取組が、子どもたちの中に浸透し、身近な相談方法の一つとして利用価値が高まった。

## 今後の展開『キーワード「Happy Box」』

- いじめのない楽しい学校生活を送ることができるように、良い行動や優しくしてもらったことなどを募って紹介する「Happy Box」の取組を一層盛り上げる。良い話を紹介して、全校で褒める活動。
  - ・全校放送を活用して全校から募った明るい話題や情報を紹介する。
- 問題行動が起こった時には、課題のある子どもの担任や学年と情報を共有して、適宜、全職員に現状報告を行い、全職員が一体となって解決に向けた支援を行う。
  - ・職員は、子どもたちへの声かけを大切にされた関係作りに努め、日頃から子どもの様子や言動、表情をしっかりと観察すること。ちょっとした異変にも気付き、声かけができる校内の雰囲気作り。
  - ・小さな問題行動も見逃さない「勘」と「目」を養い、素速く動くことができる職員集団になるために、これからも適切な予防策を講じていく。また、ケースバイケースで柔軟に対応できる職員集団を築いていく。

## 他校へのアドバイス『キーワード「よき判断 よき行動」』

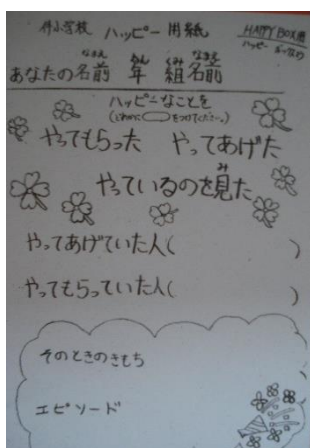
- 伴中学校区9年間の生活目標の実践
  - ・伴中、伴小、伴東小の3校が生徒指導上の情報共有や3校合同で取り組み可能な計画を実施し、それぞれの状況を検証する。今年度は、「携帯電話・スマホ・ゲーム機などの夜9時までの使用制限キャンペーン」を中学校の試験期間や長期休業期間に合わせて実施した。家庭の協力なしに、生徒指導の向上はあり得ないということを感じた。
  - ・中学校区で一貫した9年間の生活目標「よき判断 よき行動」を設定し、児童・生徒の成長を見守りながら、どの学校も成長過程に沿った指導方法で規範意識を高めていく。



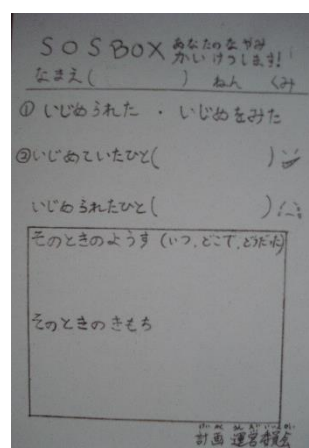
一年生を迎える会



計画運営委員会が実施したクイズ



Happy Box 用紙



SOS BOX 用紙



Happy Box と SOS BOX